

39-22 新概念超平滑立軸研削特性の検討

SKD11 焼き入れ材の研削特性

大学院自然科学研究科	教授	安井 平司
大学院自然科学研究科	後期課程	山本 雄記
大学院自然科学研究科	前期課程	宮本 兼輔

先の研究で、遊離砥粒加工で得られる仕上面粗さに匹敵しうる超平滑研削加工法を考案・開発し、その有用性を示した。さらに加工能率の向上をめざし、超平滑立軸研削法を開発し、炭化ケイ素セラミックスの平面加工を行い、加工能率を大幅に改善し得ることを確認した。本報は、開発した超平滑立軸研削法をダイス鋼 SKD11 の平面研削加工に適用し、研削条件が研削特性に及ぼす影響について実験的に検討した。その結果、高平滑な研削面を従来よりも高能率に加工し得ることがわかった。

2006 年度精密工学会春季大会学術講演会講演論文集, pp.579-580, 2006.03